

## 11月末現在の店舗数1万2656店 07年1月～11月で1,121店廃業

全日遊連は12月集計で、都道府県組合加盟の07年11月末現在の店舗数が1万2656店舗と発表した。

11月の廃業店舗数は83店、新規店は25店。また、11月の休業店舗数は361店で、休業は07年1月調査以来、最高となった。各県遊協の集計により、営業店舗数は、休業店舗数を含む組合と含まない組合がある(遊技機台数も同様)。

これにより07年1月～11月の累計の新規店は277店舗、廃業店舗数は1,121店舗となった。07年1月末の店舗数は1万3537店だったので、11月末現在で881店舗減少した。

また、11月末現在のパチンコ台数は275万75台、回胴式遊技機は157万5309台、その他1546台、合計432万6930台となっている。パチンコ機は07年1月末の278万1778台に比べて3万1703台の減少、回胴式遊技機は07年1月末現在の184万2507台に比べて26万7198台減少した。

## リハビリサポート・ネットワーク 07年度上期の相談件数401件

06年4月設立された、ばちんこ依存問題相談機関「リハビリサポート・ネットワーク」(医学博士・西村直之代表、略称RSN)の07年度上期(4月～9月)の相談事業概要が、12月の全日遊連会見で発表された。

07年度上期の相談件数は、401件で前年同期の589件に比べて188件減少した。相談件数の上位は、大阪府45件、沖縄県43件、東京都27件、福岡県24件、兵庫県23件の順。全ての都道府県から相談があった。相談電話(家族等の相談者および対象者本人からの電話)は、

30代、40代、50代の順に多い。本人からの相談が49%を占め、次いで家族・友人からの相談が41%を占める。相談者(コーラー)の男女比は、女性55%、男性38%、間違い・無言7%となっている。

相談内容は、パチンコ・パチスロをやめる(やめさせる)方法の相談が最も多く、次いで、地域の相談先、家族の接し方、当事者に対する感情の順となっている。相談経験の有無では、初めて相談したという人が82%(不明含)を占め、相談経験ありは18%だった。相談に至ったきっかけは、ホール内の告知啓発ポスター31%、新聞19%、インターネット18%。RSNでは相談を受け、地域の相談機関等を紹介しているが、転帰のうち最も多いのが、県や市の精神保健福祉センター、次いでギャンブラーズ・アノニマス、ギャマノン、ワンダーボートの順となっている。全日遊連では、引き続き店内へのポスター掲示を呼びかけている。

## 日遊協ボランティア団体応援基金 7件11団体に710万円の助成

「日遊協ボランティア団体応援基金」の助成団体審査会(委員長・深谷友尋会長)が12月18日開かれ、7件・11団体へ計710万円の助成を決めた。

助成先は以下の通り。かっこ内は助成額。

- ①NPO法人ふじみの国際交流センター＝埼玉県ふじみ野市と周辺地域の外国籍の人達の自立支援、一般市民・団体との交流協力活動を推進。(80万円)
- ②NPO法人日本国際ボランティアセンター＝アフガニスタンで女性と子供達のための診療など保健改善支援事業。(50万円)
- ③(社)日本青年奉仕協会＝「青年長期ボランティア計画」として、ボランティア41人を40ヶ所の活動先に約1年間